

14番	高桑 茂樹 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1、令和6年能登半島地震を踏まえて</p> <p>【質問趣旨】 令和6年1月1日、元旦に発生した令和6年能登半島地震は、石川県能登半島を震源としたマグニチュード7.6、最大震度7という巨大地震でした。 今後、発生が想定される「南海トラフ地震」への災害対応の在り方として、事前に準備が出来る対策、災害が発生してから行わなければならない対応について、今回の地震を教訓に、他人事ではない被害の大きさを共通の認識として、減災に取り組んで頂きたい考えから質問します。</p>	<p>(1) 認識について</p> <p>(2) 上水道対策について</p> <p>(3) 井戸水の有効利用について</p>	<p>① 令和6年1月1日午後4時10分頃、石川県能登地方でマグニチュード7.6、最大震度7の能登半島地震が発生し、瀬戸市は支援活動へ各部署からの職員派遣等をおこない、職員から活動報告を受けていると思うが、どのような危機意識を持たれたのか伺う。</p> <p>① 今回の地震を踏まえて、市内ではどのような被害が起きると想定をし、対策についてどのように考えているか伺う。</p> <p>② 本市には、蛇ヶ洞浄水場、馬ヶ城浄水場の2つの浄水場と愛知県企業庁から水道水を受水している菱野低区配水場、南山口配水場、穴田配水場がありますが、水源池の耐震対策は、順調に進んでいるのか伺う。</p> <p>③ 地震時など緊急事態の時には、所有しているタンク車2台による、配水池施設から車両タンクへの受水は可能なのか伺う。</p> <p>① かつて、愛知県の調査において、災害時に協力できる井戸を所有している協力事業所を把握しているとのことであったが、現在の状況を伺う。</p> <p>② 市内の井戸水協力事業所においては、現在、井戸水の利用がされているのか、利用がされていないかの状況を把握しておくことが大切な事と考えるが、見解を伺う。</p> <p>③ 発災時には、周辺地域が井戸水協力事業所から井戸水の提供を速やかに受けられるような関係を構築しておく必要があると思うが、見解について伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

14番	高桑 茂樹 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	<p>(4) 災害時の物資支援について</p> <p>(5) 今後の取り組みについて</p>	<p>① 大規模災害の発災当初は、被災地方自治体において正確な情報把握に時間を要すること、民間供給能力が低下することなどから、被災地方自治体のみでは、必要な物資量を迅速に調達することが困難と想定されている。このため、国は被災府県から具体的な要請を待たないで支援をおこなう、プッシュ型支援へ移行していますが、本市では、どのような流れを想定しているのか伺う。</p> <p>② 瀬戸市避難所運営マニュアル本編では、避難所運営に必要な場所として、食料・物資は、荷下ろし、荷さばき場所、保管場所まではあるが、避難所運営が長期化した場合に備えて備品リストの作成やローリングストック方式も視野に入れておくことが有効に使用できることへと繋がると考えるが、見解を伺う。</p> <p>③ 令和5年12月14日に行われた、せと市民総ぐるみ防災訓練、令和5年度瀬戸市総合防災訓練総括、訓練報告検証会で、山間部において、道路のがけ崩れや陥没の事態が起きると、孤立してしまう地域が発生するといった、懸念の報告があったが、物資の供給支援についてどのように想定しているのか伺う。</p> <p>① 今回の能登半島地震では、被災地での「炊き出し」の必要性が再認識されるようになった。本市でも、新型コロナウイルス感染症による活動制限以前は、防災訓練において、ハソリ釜による「炊き出し」を行っていた地域もあり、再び、ハソリ釜活用の理解と活動を広める必要があると考えるが、見解を伺う。</p> <p>② 内閣府男女共同参画局から、「災害対応力を強化する女性の視点」～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～が出されているように、防災や災害対応に女性の視点をさらに取り入れていく必要があると考えるが、見解を伺う。</p> <p>③ 断水が中長期に続く場合は、あらゆる方面から生活水の確保をする必要があると考えるが、見解を伺う</p>

(2 ページ)

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。